

16人が実施



一般質問



一般質問とは、議員が市の一般事務について執行機関に対し説明や報告を求めるものです。12月議会は、3日間にわたって熱い議論が繰り広げられました。ここでは、その概要をお知らせします。その他の質問もありますので、気になる議員を見つけたら、二次元コードから、当日の様子をチェック！

福祉・健康

保育所待機児童の実態	杉田 恭之	p4
妊産婦の口腔健康	今野 雄一	p5

教育・文化

地域スポーツコミッショナ	大曾根英明	p5
日本語指導の必要な児童・生徒	内野 嘉広	p5
教育現場は子どもにやさしいのか	長谷川 清	p6
学校教育の充実	出雲敏太郎	p6

市民生活

自治会が担う衛生的な環境づくり	小林ひとみ	p6
避難所運営	高篠 雅洋	p7
市民生活の安心	瀧嶋 正紀	p7
交通安全対策	小島 幸広	p7

都市整備

歩きたくなるまちづくり	村上 信吉	p8
樹木の適正管理	小川 茂	p8
ガーデンパークの振り返り	小川 尋海	p8
歩道の根上がり対策と整備	山中 基充	p9
移動困難者への積極的支援	福島 恵美	p9

市政運営

鶴ヶ島市DX推進計画	太田 忠芳	p9
------------	-------	----

福祉・健康

市内保育所の待機児童の実態について



待機児童の実態は

答問 令和6年4月現在で保育所入所の待機児童数11年間連続ゼロを更新中と伺っている。保留児童数の現状は。

令和6年11月1日現在で、0歳児23人、1歳児24人、2歳児14人、3歳児2人、4歳児、5歳児0人の合計63人となっている。

今後の保留児童の解消に向けた取組は、これからも就学前児童数は減少するものの、女性の就業率の上昇などに伴い、保育ニーズは、横ばいで推移すると見ており、もうしばらくは、入所希望児童数が利用定員を上回る状況が続くと予測する。今後も利用定員を上回る弾力的な受入れを継続的に実施するほか、私立幼稚園の認定こども園化などにより待機児童ゼロを継続していくとともに、保育児童数の減少にも努めていく。



杉田 恭之
議員

